

# 邪魔にされるなんて…。

# もっと心のバリアフリーを！

## 大町商店街

昔 からの大館の商店街である、大町商店街を調べてみました。

### 障害者への配慮

- ・ 歩道すべてに視覚障害者用の点字ブロックが埋設されていた。
- ・ 『ポランテアの店』がある。出入り口に段差があるものの、店員さんが持ち上げてくれる。
- ・ 『北部市民サポートセンター』がある。車いす用トイレが完備されていて、交流サロンでは、お茶を自由に飲めた。ゆっくりくつろげる。

### 気になる点

- ・ 下図のように歩道が車道側に傾いているため、車いすがだんだん車道へ寄ってしまう。
- ・ 歩道から車道に出る境目（横断歩道など）に1、2cmの段差があり、登りづらい。しかも、大町の地形が坂であるため、下り

は止められなくなる。  
 ・ 車いすを使って調査していると、自転車に乗ったおじさんに邪魔にされた。

・ 横断歩道の白線が波打つようでも渡りにくかった。

・ 商店が並んでいるが、出入り口に段差があり不便な店が多い。

## 大

町商店街全体には、古い歴史があり、元々、障害者や高齢者への配慮を考えて造られたわけではありません。また、坂道に商店街が立地しているという、地形自体にも問題があり、坂や段差が数多く見られます。あちらこちらに、1cmにも満たない段差が数多く見られます。そんなちよつとした段差は、一見、誰にも影響が無いようにも思えますが、実際には「高齢者もつまずいたりしている」「電動車いすでも大変」と、調査している時、街の人からの意見も聞かれました。せめて歩道と道路の間をフラットにするくらいのこととは、すぐにでも改善ができそう

だと思えます。

しかし、有料駐車場には、車いす用の出入り口があったり、建物の中に身体障害者用のトイレがあったりと、新しく建設、改築された所には、高齢者や身体障害者への配慮が見られました。こうした取り組みは、障害者が外出する機会を増やします。商店街の発展のためにも、誰もが足を運べる街にして欲しいと思いました。

### 取材を終えて

感想①

車いすのマークの付いている駐車場に健常者の車両が駐車されていたり、点字ブロックの付いた歩道の途中に自転車が止まっていたりして、通行の妨げになっている光景をよく見かけます。これで良いと思いますか？「ちよつとだけだから」とか別にいいんじゃない？「全然使っていないじゃん！」と、皆さんは考えるかもしれません。これらはすべて自分本



波打つ歩道



専用「出入口」

